

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

今年が協議会が設立されてから10年という節目の年にあたります。この10年を振り返ると、高齢者人口が増加するという予測のもと介護食品が開発されるようになってから、協議会では業界自主基準としての「ユニバーサルデザインフード」を提案、普及啓発と規格の研鑽に日々励んでまいりました。

最新の平成22年度版高齢社会白書によると、今や総人口に対する高齢者比率は23.1%、要支援・要介護認定を受けている高齢者はおよそ440万人で当時の1.5倍となっており、「ユニバーサルデザインフード」の役割は今後ますます重要になると思われまます。

その間「ユニバーサルデザインフード」を取り扱う会員企業数は増え、生産金額では毎年15～20%前後、商品登録数についても557品目（2010年11月末現在）にのぼり、著しい成長をみています。また、販売チャネルでは医師や専門職種認知度が一步進んでいることから業務用の比率が高くなっていますが、今後の需要は確実に在宅方面にシフトしていくことが予想されます。

「一生口からおいしく食べる」ことを理想とした「食介護」という考え方がある通り、協議会では、今後ますます増加すると思われる利用者の皆様に、衛生、安全は当然のことながら、美味しさ、食べやすさ、使いやすさというものを追求し、生活の質(QOL)を高めていただけるように努力してまいります。

最後に、本年が皆様にとって喜びに満ちた良い年となりますことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成23年元旦

日本介護食品協議会
会長 島 家時